

ブロック別研修会 報告書

【水戸・県北ブロック】

日 時	11月22日	
場 所	公益財団法人 茨城県学校給食会	
内 容	<p>○伝達講習「ヤクルト視察研修に参加して」(茨城町立長岡小 栄養教諭 三井あすか) 「食育指導者養成研修食育コースに参加して」 (日立市立駒王中学校 栄養教諭 村田則子)</p> <p>○研究協議「給食管理および食に関する指導の課題について」</p> <p>○講話「食に関する指導と学校給食の栄養管理・衛生管理」 (保健体育課健康教育推進室指導主事 中村 美智子 先生)</p>	
感 想	<p>当日朝に起きた地震の影響で、内容を一部変更して実施した。急な変更にもかかわらず、指導主事の中村美智子先生や会員の皆様にご協力いただき、一人ひとりが日頃の食指導や衛生管理について振り返ることができた、有意義な研修となった。</p>	
写 真	<p>mito1.jpg</p> 	<p>mito2.jpg</p> 

【鹿行ブロック】

日 時	11月24日	
場 所	潮来市立牛堀公民館	
内 容	<p>○講演「学校給食におけるアレルギーの対応について」 講師：日本医科大学付属病院小児科 五十嵐 徹 先生</p> <p>○伝達講習「ヤクルト本社中央研究所視察研修に参加して」 報告者：神栖市立大野原小学校 栄養教諭 猿田佳代さん</p> <p>○報告「茨城県児童生徒の朝食摂取と不定愁訴の関係調査について」 (県立医療大学との共同研究) 報告者：鉾田市立鉾田南中学校 栄養教諭 山崎仁子</p>	
感 想	<p>鹿行ブロックでは、講師の先生に日本医科大学付属病院小児科五十嵐徹先生をお迎えし、「アレルギー対応」についてお話いただきました。今年度で3年目になりますが、今回は予め会員から現在実際に困っている質問を事前に挙げてもらい、それに対して先生から回答をいただくという方式で行いました。これにより実態に応じたアドバイスをいただくことができ、今後アレルギーに対応するにあたって大変参考になりました。参</p>	

	加者からはこれまで不安に思っていた事柄について医師の立場から実践的なお話を聴くことができ、アレルギーに対する知識を得ることができた等の感想がありました。アレルギーに関しては個に応じた対応が求められるだけに、これからも研修を積み、新たな知識を吸収する必要性を感じました。
写真	なし

【県南ブロック】

日 時	11月30日
場 所	つくば市役所
内 容	<p>○講演「学校給食における衛生管理～異物混入防止対策について～」 株式会社オフィス田中 代表 田中延子先生</p> <p>○伝達講習（1）「ヤクルト本社中央研究所を視察して」 つくば市立大曾根小学校 栄養教諭 宮本亜希子</p> <p>（2）「食育指導者養成研修コースに参加して」 龍ヶ崎市立龍ヶ崎小学校 栄養教諭 猪瀬由美子</p> <p>○分科会（1）グループ協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・異物混入事例および対策 ・食に関する指導の全体計画（小学校・中学校） ・個別的な相談指導（小学校・中学校） ・食物アレルギー対応 <p>（2）発表</p>
感 想	田中先生が学校栄養職員として経験された事例、文部科学省の調査官として経験された事例など、様々な事例を示していただいただけでなく、どのように対処されたのかを聞くことができ、とても勉強になった。異物混入を起こさないことが大切なことではあるが、異物混入が起きてしまった時に、何が原因なのかを適確にとらえ、その後の対応をどのようにするかというところでも、私たちの力量が問われるのだと感じた。また、異物混入防止対策というと、作業の見直しにばかり目が行きがちだが、よりよい人間関係を築くことも異物混入防止に取り組む上でとても大切なことだと感じた。
写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>Kennnann3.jpg</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>kennnann4.jpg</p>  </div> </div>

【県西ブロック】

日 時	11月25日	
場 所	下妻市立千代川公民館	
内 容	<p>○ 講演①「茨城県食育推進計画―第三次―と県西地区の健康課題について」 講師：茨城県筑西保健所 健康増進課 管理栄養士 大内 絵里 氏</p> <p>○ 講演②「保健センターと小中学校との連携 ―しもつま食育ネットワークの取組―」 講師：下妻市保健センター 管理栄養士 田々辺 美香 氏</p> <p>○ 伝達講習① 「(株) ヤクルト本社中央研究所視察研修に参加して」 坂東市立逆井山小学校 栄養教諭 諸田 真紀子</p> <p>○ 伝達講習② 「食育指導者養成研修コースに参加して」 古河市立総和中学校 栄養教諭 佐々木佐知子</p>	
感 想	<p>今回は行政との連携をテーマに研修会を開催した。参加者からは、「学校給食だけでなく幅広い年齢を対象に取り組んでいる食育についての講話を聞いて参考になった。」「今後はライフステージに応じた切れ目のない食育活動が大切と感じた。」などの感想が出た。</p> <p>今後の生涯の健康を見据えた、食育の推進には、地域や家庭・保健所や保健センターなどの他の機関との連携がより重要になっていくと感じた。今回の研修で学んだ事を活かし、食に関する指導者としてはもちろん、食のコーディネーターとしても調節・連携をしていく力をつけていきたい。</p>	
写 真	<p>kennsei1.jpg</p> 	<p>kennsei2.jpg</p> 

【高校・特別支援ブロック】

日 時	11月4日(火) 13:30~16:30	
場 所	公益財団法人 茨城県学校給食会	
内 容	<p>講演「身体活動レベルの考え方について」 茨城キリスト教大学 准教授 中村 和照 先生</p> <p>伝達講習「ヤクルト本社中央研究所視察に参加して」 茨城県立水戸飯富特別支援学校 栄養教諭 根本 裕美子</p> <p>研究協議「食事摂取基準の活用について」</p>	
感 想	<p>特別支援ブロックでは、「食事摂取基準の活用について」の共同研究を行っている。今回の中村先生の講演では、対象者が標準体重からはずれている場合の基礎代謝量の算出方法について詳しく知ることができた。これにより児童生徒の実態にあった食事摂取</p>	

	基準を策定することができる考える。
写真	<p>tokusi.jpg</p> 